

サンショウソウ

Pellionia minima Makino
イラクサ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

森林伐採等で生育条件の悪化が進み減少傾向にある。

分 布

本州中部以西から沖縄に分布。県内では嶺南にのみ分布する。

種の特徴

山地の湿った場所に生える多年生草本。茎は地を這い、長さ10～30 cm、短毛が密生する。葉は互生し、倒卵形、長さ1～3 cm、鈍鋸歯がある。花期は4～6月。雌雄異株。花序は葉腋につき、淡緑色。

生育を脅かす要因

森林伐採、自然遷移。

参考文献 門田裕一ほか（2013）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○												

ニシキギ

Euonymus alatus (Thunb.) Siebold f. *alatus*
ニシキギ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

庭木としてしばしば植栽されるが、自生は稀である。採集記録はそれほど多くない。

分 布

北海道から九州に分布。県内では嶺南西部、嶺北の各地に点々と分布する。

種の特徴

山地の林内に生える落葉低木。枝は4稜があり、稜から板状の翼が出る。翼のないものをコマユミという。葉は対生し、長楕円形、長さ2～7 cm、細かい鋸歯がある。花期は5～6月。花は淡緑色、直径6～8 mm。果実は裂開し、種子は橙赤色の仮種皮に包まれる。

生育を脅かす要因

森林伐採、園芸採取。

参考文献 茂木透他（2000b）、福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○							○			○			○	○

ニシキソウ

Chamaesyce humifusa (Willd. ex Schldtl.) Prokh.
トウダイグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地に限られ、個体数も少ない。

分 布

本州から沖縄に分布。県内では嶺南に分布する。

種の特徴

畑や空き地に生える一年生草本。茎は赤く、分枝して地を這い、長さ10～25 cm。葉は対生し、長楕円形、長さ0.4～1 cm、斑紋はない。花期は7～10月。葉腋に杯状花序をつける。蒴果は直径約1.8 mm、3稜があり、無毛。

生育を脅かす要因

土地開発、道路整備。

参考文献 林弥栄ほか（2013）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○													○